

# vol.5 Saishigakuhoren NEWS

## 埼私学保連ニュース

### 《平成21年度会長就任にあたって》

埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会  
会長 早船 雅文

平成21年6月14日総会において、第3代会長に就任いたしました早船雅文です。埼玉県私学保護者会連合会は、平成19年2月設立総会で産声を上げ、同年6月に第一回定期総会から活動がスタートし、本年で3年目となりました。「私学振興」と「青少年の健全育成」を目指し、具体的な活動として、「公私間格差是正の請願署名活動」・「私学振興大会」そして「研修会」の開催などを行ってきました。

昨年、公費支出の公私間格差の是正を求める請願が県議会で採択され、平成21年度の私学関連予算前年度比約3億6千万円ほどの増加を勝ち取ることができました。しかし他の都道府県に比べまして埼玉県は、生徒一人当たりの教育・私学関連予算は最下位もしくはそれに近い状況です。埼玉県私立中学高等学校協会と協力して、今年度

もさらなる公私間格差是正の請願活動を続けてまいりますのでご協力を宜しくお願いいたします。また、全国組織の日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会の構成団体として、日本私立中学高等学校連合会とともに、私学振興活動を進めていきたいと思っております。尚一層のご協力をお願い致します。



発行 埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会 広報部

所在地 さいたま市浦和区高砂4-13-20 埼玉私学会館内

TEL 048-866-4478 FAX 048-866-4479

# 埼私学保連

## 平成21年度 定期総会

6月14日(日)“ラフレさいたま桜ホール”に於いて平成21年度定期総会が開催されました。埼玉県私立中高協会より会長の松崎先生を始め副会長の先生方、日私学保連より副会長の堀越優様を来賓にお迎えしました。また加盟校34校36団体中34団体が参加し、4校のオブザーバー参加を加え、出席総数109名により本総会は有効に成立しました。平成20年度事業・決算・監査の各報告の後、それぞれが承認されました。霧野会長より21年度役員(案)の提案があり、承認後退任役員を代表して霧野前会長より、新任役員を代表して早船新会長よりそれぞれ挨拶がありました。平成21年度活動方針及び事業計画(案)、また予算(案)の提案がありそれぞれ審議の後承認されました。すべての議事が終了したあと諸連絡・報告があり閉会となりました。



総会後は元警視庁警察官・少年犯罪予防委員会代表の幸島美智子先生による講演会が開催されました。「親子の絆を深めるために」・・・ネット社会を生きる子どもたち・・・と題し、少年犯罪の傾向、現状と対策、携帯電話の落とし穴(学校裏サイトからプロフへ)、少年非行の原因と背景、親(大人)として今やるべきことなど、ネットを介した犯罪やいじめなどについて、又子どもたちを取り巻いている様々な問題などについて話をして頂きました。

## 日私学保連総会・研修会参加報告

副会長 島村 健

平成21年度日私学保連の総会・研修会は、「子どもたちの明るい未来のために」をテーマに長崎市で開催されました。長崎全日空ホテルのグラバービルを会場に、7月16、17日の2日間開催されました。16日の総会には、国会議員、長崎県知事、県議会議長をはじめ多くの来賓と都道府県学保連の代表者、オブザーバー約160人が参加いたしました。議事は、時間を延長して私立学校振興対策や、私学助成について議論が交わされ熱気あふれるものでした。17日の研修会は、長崎市被爆継承課平和学習係長の福田様より「長崎市の平和学習について」の講演、午後には日私学保連顧問の武田龍吉氏による「教育費の公私間格差について」の講演をいただき、経緯と現状そして未来へ、出来ることから行動することを再認識いたしました。また、「幕末の長崎に活躍した若者たち」について長崎総合科学大学のブライアン・パークガフニ教授よりユーモアあふれる講演で、長崎から日本の歴史を創った外国人の若者の紹介をいただきました。大変有意義な二日間を過ごさせていただき感謝申し上げます。

来年度は、岡山県で開催される予定です。



# 活動の報告

## 埼玉県公私立高等学校協議会

副会長 待鳥 美光

7月16日(木) 10時より12時まで さいたま共済会館において平成21年度第1回埼玉県公私立高等学校協議会が開催されました。この会議は、公私立高等学校教育に共通する諸問題についての協議の場で、今回の主な協議事項は、平成22年度の生徒募集に係る「公私比率」についてです。

埼玉県の公立高校と私立高校の生徒募集における公私比率は、急増期から急減期にわたって、公立65%、私立35%の割合を約30年間維持しています。21年3月の中学卒業生総数は65,421人で、ピーク時(平成元年3月)の56.6%となっています。

教育を取り巻く環境が大きく変化している中で、公私比率はずっと見直されることなく維持されています。また県内私立学校では、中学校が新設されて中高一貫体制をとる学校が増えていますが、中学校卒業生総数には、そのまま一貫校の高校に進む生徒が含まれており、一貫生を含んだ卒業生数の65%が公立高校に振り分けられているのです。公私立高等学校協議会の席上、今後現状に即した比率の見直しをしていく必要がある旨の発言をしました。

今年の『私学振興大会』は

11月19日(木) 午後2時

さいたま市文化センターです

ふるってご参加を!!!

## 埼玉私学教育研究大会

### 《保護者と教師の集い》

8月21日(金)に ”ラフレさいたま「櫻ホール」において、埼玉私学教育研究大会『保護者と教師の集い』が開催されました。総勢37校427名が参加しました。

午前は『夢は叶う Keep on Dreaming』と題し、教育学博士廣田和子氏による記念講演が行われ、午後は「子どもの生き方に、親として、教師として、どのように関わればよいのか」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

午前・午後それぞれテーマが違いましたが、根底に《子どもたちの悩み・不安に大人としてどう向き合うのか》という共通の想いがありました。アドバイザーの先生と参加保護者の両者から「深刻な悩みほど口に出さない。口に出したとしても、他者の事として言うが多い。子どもの様子の変化を注意深く見守る必要がある。」と実体験に基づいた意見の発表がありました。また、パネラー以外の会場の保護者からも貴重な意見が寄せられました。



# 保護者の

## 活動紹介

### 《小松原高等学校父母協力会》

今年学校創立50周年を迎えた小松原高等学校の父母協力会の活動を紹介します。一般に公立高校では、PTAと称されていますが、小松原高等学校では創立以来「父母協力会」という名称の組織で活動しています。

本会は、学校と家庭の連絡を緊密にして生徒の育成を図るとともに、小松原高校の教育の充実と振興を助成することを目的として、学校並びに生徒に対して、直接・間接的な援助協力を推進します。そのため、小松原高校の柱である『三位一体』教育を実現するため、会員相互の親睦を蜜とするとともに諸先生方との十分なコミュニケーションを図るために、各種活動を行っています。

今年度は、8月に群馬方面への夏季研修旅行、9月の報恩祭（文化祭）においてコミュニケーション広場（先生方と交流を図る集い）の開催、模擬店の出店をしました。このほかにも10月の体育祭への応援参加、11月の持久走大会における生徒への給水手伝いなどを予定しています。

このような活動を通じて、学年の隔たりなく明るく楽しい交流を図っています。



### 21年度埼私学保連役員・理事

会長	早船 雅文	( 開智 )
副会長	待鳥 美光	( 城北埼玉 )
	浦部 真理子	( 浦和実業 )
	真渡 真一	( 細田学園 )
	島村 健	( 大妻嵐山 )
会計	土屋 里香	( 東邦第二 )
	山岡 明子	( 星野 )
書記	五十嵐 由紀子	( 浦和実業 )
	豊泉 直美	( 東野 )
理事	栗村 仁美	( 東野 )
	斎藤 弘記	( 浦和明の星 )
	竹内 芳和	( 山村国際 )
	都甲 佳代	( 細田学園 )
	野本 真理子	( 城北埼玉 )
	藤井 幹之進	( 獨協埼玉 )
	八重畑 佐和子	( 大宮開成 )
	吉田 真佐子	( 西武文理 )
監事	宮脇 みさき	
	山口 真司	

以上21名で1年間頑張りますので

宜しくお願いします！

